

庁議の概要

開催日 令和 6 年 5 月 29 日（水）

◎項 目

- 1 県庁のデジタル化に向けた取り組み状況
- 2 今週の動き

◎内容

1 県庁のデジタル化に向けた取り組み状況【総合企画部】

○ 総合企画部長

電子申請、電子契約などの県庁のデジタル化については、各部局で積極的に取り組んだことで順調に進んでいるが、部局では推進状況に差が生じていることから改めて周知徹底をお願いする。

電子申請については、令和 4、5 年度に導入手続数をフォローアップした結果、一通り電子申請の導入が達成できたことから、令和 6 年度からは利用率についてフォローアップしていく。

また、令和 5 年度に年間 100 件以上あった電子申請手続きの中でも健康政策部の「高知県准看護師試験受験申請」や商工労働部の「県外学生向け交通費支援制度」など、若年層や県外在住者向けの手続きを電子申請に一本化した結果、申請率が 100%になった事例があることから、若年層や県外在住者、市町村、事業者に向けた手続きについて電子申請への一本化に向けた取り組みの検討をお願いする。

電子決裁の決裁率は、令和 4 年度は 31.2%、令和 5 年度は 62.9%で前年比約 2 倍になっている。令和 6 年度は電子決裁率 80%を目標に設定しており、本年 4 月時点の電子決済率は 75%であるものの、部局によって取り組み状況に温度差があることから、なお周知徹底をお願いする。

電子契約の利用率は、令和 4 年度は 3,246 件、令和 5 年度は 5,546 件となっている。これまでは職員がインターネット環境によって利用していたが、本年 5 月から LGWAN 環境でも利用できるようになったので積極的活用をお願いする。

各部局のペーパーレスの取り組み状況について、第 2 応接室での会議や部局長協議ではほぼ全ての部局でペーパーレス化を実施しており、その結果、令和 5 年度の全庁の紙の購入枚数は令和 4 年度に比べて約 220 万枚（5.7%）削減されており、部局別で見ると商工労働部が 24.3%と最も削減されている。ペーパーレス化できるものについては積極的に検討して実施していただきたい。

2 今週の動き【各部局等】

〈主な協議の概要〉

- 人口減少対策総合交付金（連携加算型）の活用に向けた市町村長との意見交換会の実施【総合企画部】

人口減少対策総合交付金（連携加算型）審査会を市町村対象に開催することとし

ており、5月30日は土佐清水市、三原市、宿毛市、5月31日は中土佐町に対して実施予定、6月以降も毎月開催予定である。

市町村が行う人口減少対策については県からも施策等を提案しているところであるが、子育て支援や結婚、出会い、共働き、共育等に関して各部局でもアイデアがあれば随時提案いただきたい。

○ 大雨の被害状況等について（報告）【危機管理部・農業振興部】

・危機管理部

5月28日の大雨に関する被災状況について、市町村では3市2町が配備体制を採っていたが現時点では全て解除となっており、県の配備体制は同日午後9時30分に解除。現時点で報告があがっている内容として、避難はなし、人的被害はなし、建物被害は住家被害で床下浸水2棟（大豊町）、非住家被害で床下浸水1棟（高知市）となっており、高知市は引き続き被害調査をするとのこと。ライフラインでは停電が40戸発生したが全て回復。山荘梶が森が土砂崩れで孤立しているが、本日中に復旧予定である。

・農業振興部

現在上がってきている報告では、安芸市、南国市、香南市、香美市でビニールハウスの被害があり、詳細調査中である。

○ 建設業における女性活躍セミナー【土木部】

建設業における女性活躍の場の拡大に向け、5月30日にオンラインで経営者対象に開催。事例紹介などを通じて経営者の意識を変えていくことが目的。参加予定数は38社。

○ 知事

各部局で6月議会の準備をしていただいていると思うが、予算案や議案がある部局はしっかり準備をするようお願いする。

また、新体制になって初めての議会であり、各部局でこれまでの議会で指摘を受けた事項や懸案事項を整理しておくこと。